

デジタル地方創生モデル仕様書

「避難所運営システム」概要書

2025/3/26

デジタル庁国民向けサービスグループ 防災班

目次

1. 当資料の位置づけ
2. 避難所運営システムについて
3. 主な機能の要件と画面イメージ
4. 要配慮個人情報の取り扱いについて

(参考)

- ・ 避難所運営システムが持つ機能の全体像
- ・ 全体フローイメージ

1. 当資料の位置づけ

○当資料は、システム調達を検討する自治体職員を対象に、デジタル地方創生モデル仕様書「**避難所運営システム**」で規定された**システムの概要や機能**を解説するものです。

- デジタル庁では、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（2024年6月21日閣議決定）に基づき、準公共分野のデジタル化を推進しています。防災分野においては、発災直後の自治体業務の中で大きなウェイトを占めている避難所運営等の業務を効率化していくための取組みの一つとして、2022年度（令和4年度）より実証用アプリ・システムを構築し、避難所運営のデジタル化やマイナンバーカード活用に関する避難者支援業務のデジタル化に関する実証事業（以下、実証事業）を実施しています。そのうえで、実証成果の社会実装・横展開に向け、実証で得られた知見・ノウハウ、プログラムのソース等の公表、本事業の知見を反映したモデル仕様書の作成・公表に取り組んでいます。

（参考）[令和5年度実証検証報告書（概要版）](#)

- 本書（概要書）は、実証事業の社会実装・横展開に向けて、システム調達を検討する自治体職員を対象にデジタル地方創生モデル仕様書で規定した避難所運営システムの概要や機能について解説するものです。
- 令和5年度実証事業では、避難所運営用のアプリ（避難所受付アプリ、運営者Webアプリ）と、避難者用のアプリ（避難者スマホアプリ、避難者Webアプリ）を実証用に構築して検証を行っています。この内、本モデル仕様書では、避難所運営用のアプリ（避難所受付アプリ、運営者Webアプリ）を対象に標準的な仕様（機能要件・非機能要件等）まとめています。避難者用のアプリについては、対象に含まれておりませんので、必要に応じ、別途検討をお願いします。
- デジタル地方創生モデル仕様書の活用方法等、全般に関する事項は「デジタル地方創生サービスカタログ・モデル仕様書活用の手引き」を参照ください。

2. 避難所運営システムについて

- 避難所運営システムは、**避難所運営者と避難者双方の負担軽減と利用者に必要な支援の提供**に向けて、情報の収集・共有を可能にするシステムです。
- 主な機能として、**避難所受付機能や避難者名簿一覧機能、避難所状況報告機能、避難所状況確認機能、薬剤情報管理機能があります。**

■ 避難所運営システムの主な機能

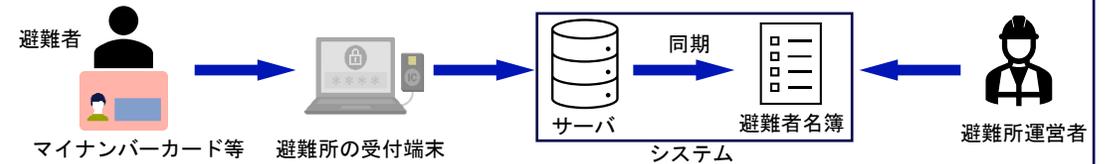
避難所受付機能

- ・ 入退所時、本人確認を円滑化します
- ・ マイナンバーカード等を用いた基本4情報の取得により情報入力を省力化します



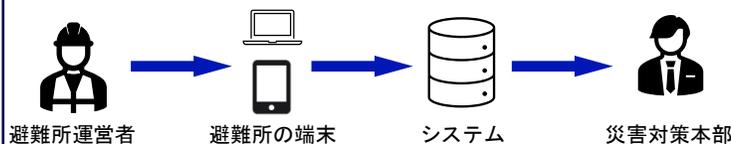
避難者名簿一覧機能

- ・ 避難者の入退所をリアルタイムで同期し、避難者名簿の作成・更新を効率化します
- ・ 要配慮者など任意の条件で絞込が可能のため、避難者情報の集計を省力化します



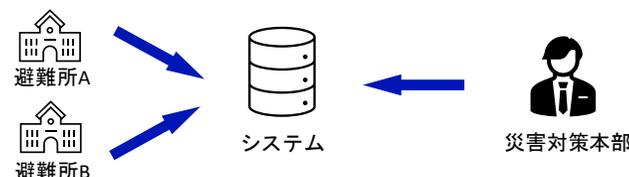
避難所状況報告機能

- ・ 避難者数や避難所のインフラの状況、支援のニーズなど、避難所から災害対策本部への報告を省力化します



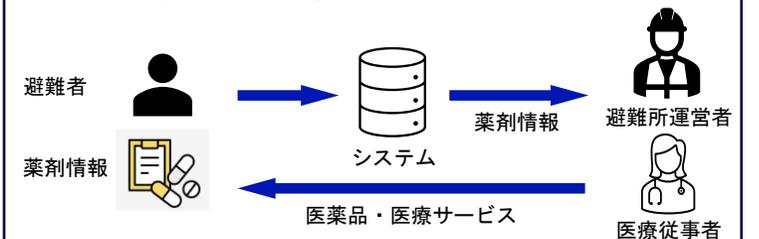
避難所状況確認機能

- ・ 避難所の開設状況や収容状況、インフラや被害情報を一元的に確認でき、災害対策本部における避難所への支援の提供など意思決定を迅速化します



薬剤情報管理機能

- ・ 避難所で必要となる薬剤情報を管理でき、避難者に最適な医薬品や医療サービスの提供を可能にします



3. 主な機能の要件と画面イメージ① 「避難所受付機能」

○避難者の入所・退所の手続きをマイナンバーカード等を用いた本人認証で円滑化する機能です。

■ デジタル地方創生モデル仕様書での記載箇所（一部抜粋）と画面イメージ

大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明
災対本部・避難所運営者向け機能	マイナカード読み取りアプリ	避難所受付機能	入所時・退所時は、マイナンバーカード+Pinコードもしくは、マイナンバーカード+顔認証本人確認で本人認証を行うことができること。 入所・退所の手続きを行う画面では、マイナンバーカードから取得した個人データを自動で表示すること。	—
			入所時・退所時には、QRコードの配布やICカードの利用など、マイナンバーカードを持たない避難者の受付にも対応すること。	—

画面イメージ（デジタル庁実証事業で構築したシステムより）

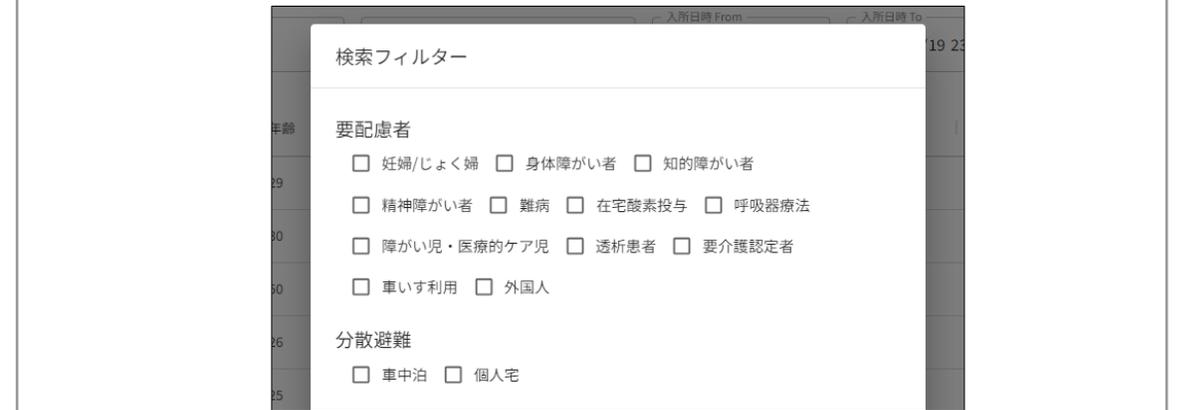
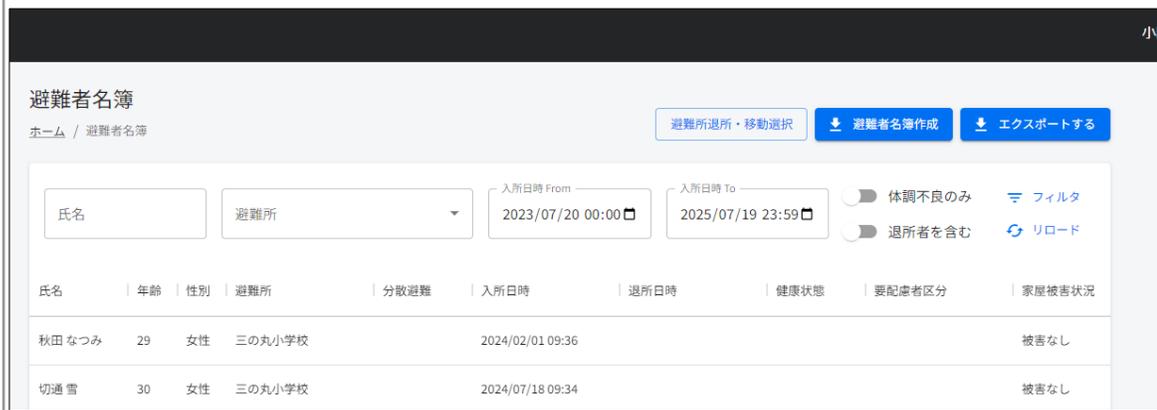
3. 主な機能の要件と画面イメージ② 「避難者名簿一覧機能」

- 避難者の入退所をリアルタイムで同期し、**避難者名簿を作成・更新する機能**です。
- 避難者情報の集計の省力化を可能にする、**任意の条件で絞り込み検索機能**を持ちます。

■ デジタル地方創生モデル仕様書での記載箇所（一部抜粋）と画面イメージ

大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明
災対本部・避難所運営者向け機能	災対本部・避難所運営者向けWebアプリ	避難者名簿一覧機能	検索条件に条件を指定し、避難者名簿を一覧で表示できること。 避難者名簿一覧画面上では氏名、避難所、入所期間、体調不良者、要配慮者区分などにより、フィルタできること。 さらに、検索フィルタ画面などで、詳細な絞り込みができること。	【絞り込みの対象項目例】 絞り込み対象項目と条件：要配慮者（妊婦、車いす利用、難病など）、分散避難者（車中泊、個人宅など）、家屋被害状況（被害なし、一部損壊、全壊など）など ※要配慮者の情報のうち、病歴、障害等の情報については、個人情報保護法に規定する要配慮個人情報を含みうるため、本人からの同意を適切に取得した上で、閲覧できる情報の範囲や閲覧権限について、発注者の判断に基づき設定できるようにすること。
			登録されている避難者が避難所を移動した場合や退所した場合は、避難者名簿一覧画面上で移動・退所した旨を入力できること。	—

画面イメージ（デジタル庁実証事業で構築したシステムより）



3. 主な機能の要件と画面イメージ③

「避難所状況報告機能 (避難所→市区町村)」

○ 避難所から市区町村の災害対策本部に対し、避難所に関する基本的な情報やライフライン、設備・衛生、生活環境、食事等の情報を報告する機能です。

■ デジタル地方創生モデル仕様書での記載箇所（一部抜粋）と画面イメージ

大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明
災対本部・避難所運営者向け機能	災対本部・避難所運営者向けWebアプリ	避難所状況報告機能 (避難所→市区町村)	指定した検索条件をもとに避難所状況情報の一覧表示ができること。	
			避難所から市区町村に対して状況を報告するための情報を入力できること。 なお、前回入力した内容を引き継ぐこともできること。	【避難所から市区町村に報告するための基本的な情報項目例】 避難所情報(避難所名称、避難所コード、定員、連絡先担当者、電話番号など)、報告者情報、運営組織情報、人的被害、道路状況、避難所の建物被害、被災状況、参集職員状況、人命救助の要否、避難者の増減の見込みなど

画面イメージ（デジタル庁実証事業で構築したシステムより）

3. 主な機能の要件と画面イメージ④ 「避難所状況確認機能」

○災害対策本部において避難所の開設状況や収容状況、インフラや被害情報を一元的に確認する機能です。

■ デジタル地方創生モデル仕様書での記載箇所（一部抜粋）と画面イメージ

大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明
災対本部・避難所運営者向け機能	災対本部・避難所運営者向けWebアプリ	避難所状況確認機能	避難所状況や地図情報などを把握できること。	—
			避難所状況を確認する画面では、行政区など任意の地域単位、避難所単位での集計情報を一覧で表示できること。 また、表示する行政区など任意の地域単位や避難所名を絞り込むことができること。 なお、避難所を絞り込む際は、避難所名、開設状況（すべて、開設済み、アラートあり）などによって絞り込みができること。	—

画面イメージ（デジタル庁実証事業で構築したシステムより）

The screenshot displays a web application interface for disaster relief management. On the left, a dashboard titled '避難所 (12)' shows four facility cards, each with a 75% completion rate and a radar chart for amenities like water, food, and toilets. The facilities listed are 北幼稚園, 南足柄小学校, 南足柄中学校, and 岩原小学校. In the center, there is a search bar and filters for disaster types such as flood, high tide, earthquake, and fire. On the right, a map shows the geographical distribution of these facilities, with markers indicating their locations in the region.

3. 主な機能の要件と画面イメージ⑤ 「薬剤情報管理機能」

- 医薬品や医療サービスの支援提供に向けて、**避難所毎に必要な薬剤を管理する**機能です。
- 薬剤情報は、個人情報保護法に規定する要配慮個人情報を含みうるため、**避難者本人からの同意取得や閲覧範囲・権限**について適切に設定することが必要です。

■ デジタル地方創生モデル仕様書での記載箇所（一部抜粋）と画面イメージ

大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明
災対本部・避難所運営者向け機能	災対本部・避難所運営者向けWebアプリ	薬剤情報管理機能	避難所毎に必要な薬剤情報を一覧で表示できること。	<p>【避難所ごとに必要な薬剤情報について表示する項目例】 医薬品コード、薬剤名、1日あたりの必要量、単位（錠、吸入）、使用人数</p> <p>※病歴、障害、調剤等の情報については、個人情報保護法に規定する要配慮個人情報を含みうるため、本人からの同意を適切に取得した上で、閲覧できる情報の範囲や閲覧権限について、発注者の判断に基づき設定できるようにすること。</p>

画面イメージ（デジタル庁実証事業で構築したシステムより）

市区町村	避難所	医薬品コード	薬剤名	1日あたりの必要数量	単位	使用人数
小田原市	三の丸小学校	2251001G1092	テオフィリン徐放錠 200mg「トーフ」	2	錠	1
小田原市	三の丸小学校	2290800G1032	アドエア100ディスカス28吸入用	2	吸入	1

4. 要配慮個人情報の取り扱いについて

- 避難所運営システムでは、**病歴、障害、調剤等の個人情報保護法に規定する要配慮個人情報**を含みうる情報を取り扱う場合があります。
- 要配慮個人情報を取り扱う際は、**避難者本人からの同意取得**や、**閲覧範囲・閲覧権限**について適切に設定することが必要です。

■ デジタル地方創生モデル仕様書で要配慮個人情報を取り扱う可能性のある機能

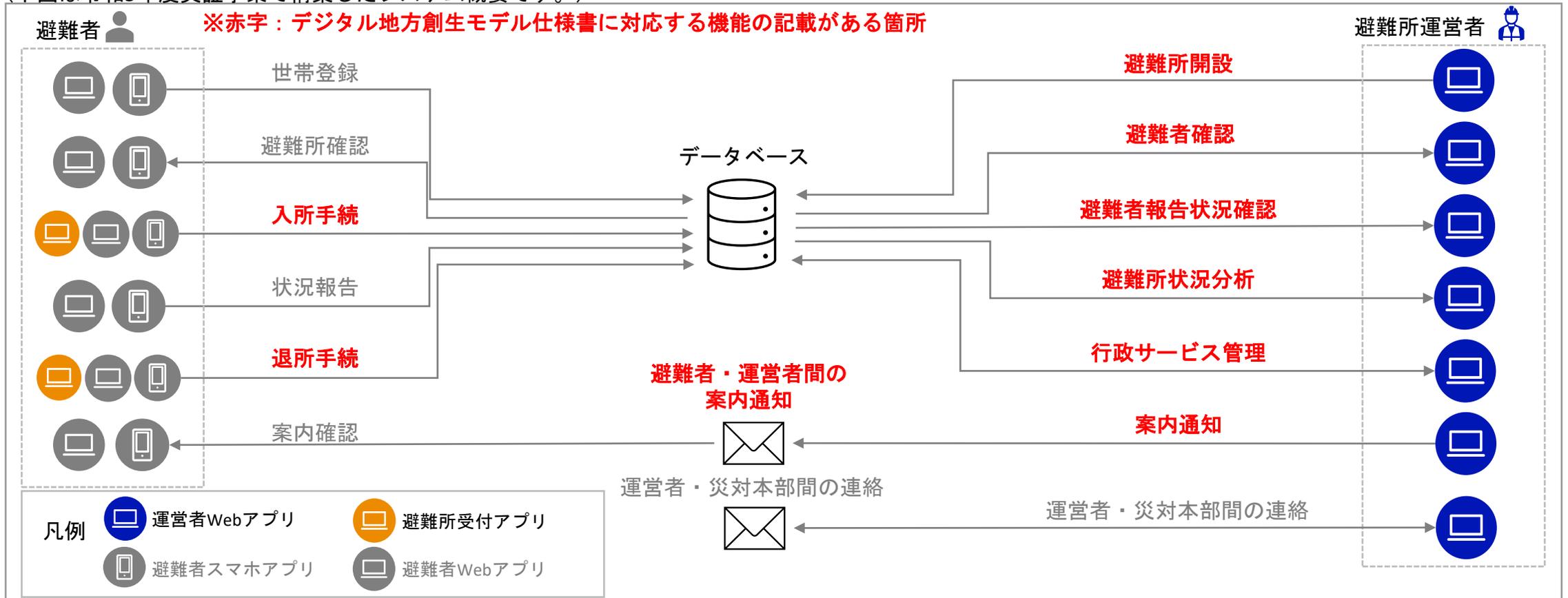
大項目	中項目	小項目	要件
災対本部・避難所運営者向け機能	災対本部・避難所運営者向けWebアプリ	避難者名簿一覧機能	検索条件に条件を指定し、避難者名簿を一覧で表示できること。 避難者名簿一覧画面上では氏名、避難所、入所期間、体調不良者、要配慮者区分などにより、フィルタできること。 さらに、検索フィルタ画面などで、詳細な絞り込みができること。
		避難所状況報告機能 (避難所→市区町村)	上述した基本的な情報の他、生活環境・食事に関する情報を入力できること。 加えて、特記事項・課題等をフリーテキストで入力できること。
		医療福祉状況報告	医療福祉状況を報告するための情報を入力できること。 加えて、その他緊急事項をフリーテキストで入力できること。
		避難者への情報伝達機能	避難所運営者や災害対策本部等から、避難者へ情報伝達できること。（炊き出し、入浴サービス等の案内、医師巡回、アレルギー食品等の提供など） なお、宛先は、入所者全員の他、属性（要配慮者情報など）を複数設定できること。
		薬剤情報管理機能	避難所毎に必要な薬剤情報を一覧で表示できること。

(参考) 避難所運営システムが持つ機能の全体像

- 本モデル仕様書では、企業・自治体等へのヒアリングを踏まえて、**避難所入退所に関する機能と避難所運営者や災害対策本部向けの機能**を記載しています。
- 令和5年度実証事業では、避難所運営用のアプリ（避難所受付アプリ、運営者Webアプリ）と、避難者用のアプリ（避難者スマホアプリ、避難者Webアプリ）を実証用に構築して検証を行っていますが、**本モデル仕様書では、避難所運営用のアプリ（避難所受付アプリ、運営者Webアプリ）を対象にしており、避難者用のアプリについては含まれておりません**ので、実際の導入時には必要に応じて、別途検討をお願いします。

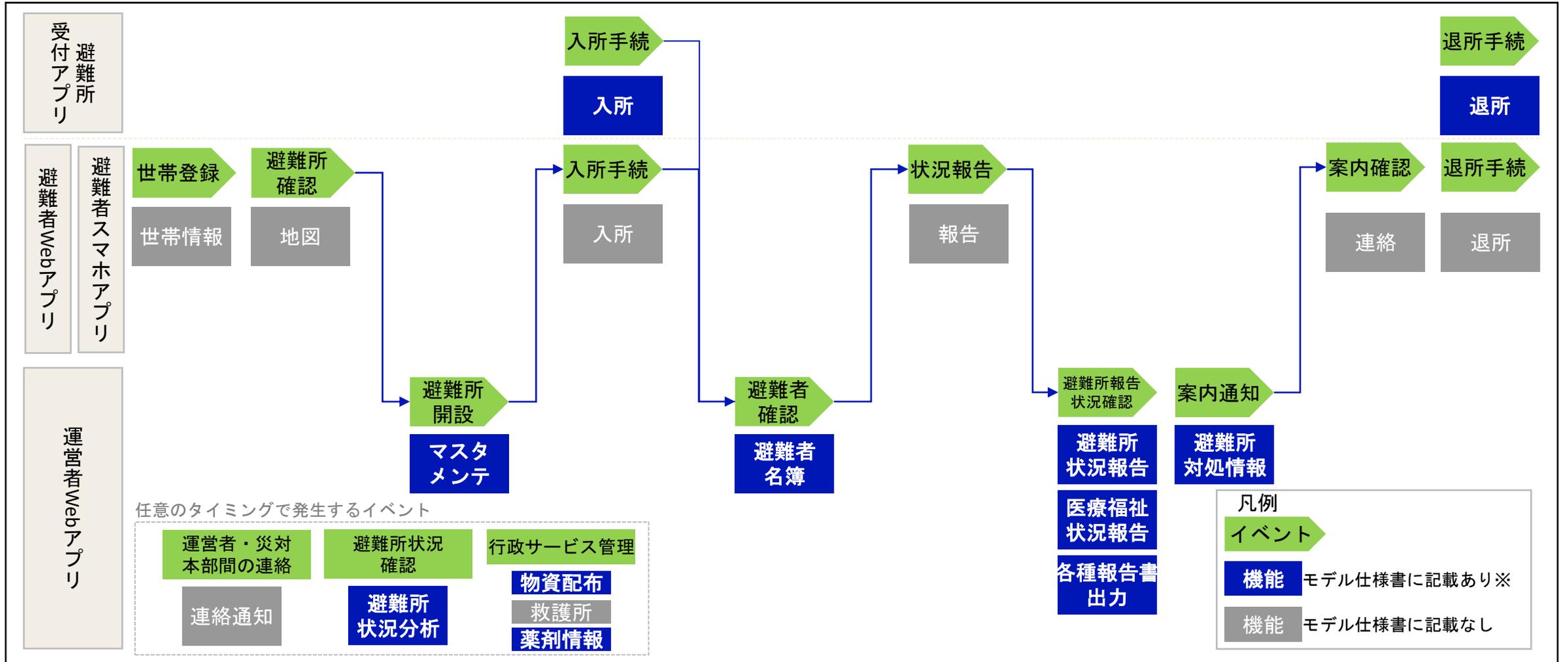
■システム概要イメージ

(下図は令和5年度実証事業で構築したシステム概要です。)



(参考) 全体フローイメージ

■全体フローイメージ（災害発生時の「世帯登録」～「退所手続」までのイベントを想定）
 （下図は令和5年度実証事業で構築したものをベースとしたシステム概要です。）



※本モデル仕様書では、避難所運営用のアプリ（避難所受付アプリ、運営者Webアプリ）を対象にしており、避難者用のアプリについては含まれておりませんので、実際の導入時には必要に応じて、別途検討をお願いします。

デジタル庁
Digital Agency